

한통련 뉴스레터

제 108 호

発行:在日韓国民主統一連合（韓統連）

〒169-0074 東京都新宿区北新宿 1 丁目 30-30-124 電話/FAX 03-4362-5284

メール chuo@korea-htr.org

ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方は chuo@korea-htr.org までご連絡ください。（メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください）

정세 情勢

●広場・野党の共闘による圧倒的政権交代で内乱勢力清算・社会大改革を実現し、「光の革命」を完遂しよう！



大統領選挙出征式で演説する李在明候補

共闘に合意した広場・野党、共同候補に李在明氏

「広場大選連合政治市民連帯-諸政党連席会議」は5月9日、国会で記者会見を開催し、「今回の大統領選（大統領選）において積極的な連帯と協力を通じ、極右内乱勢力の再執権を阻止し、国民主権を守護するために、圧倒的な勝利をつくりあげる。また、極右内乱勢力を清算し、社会大改革の課題を推進するための広場-連合政治の時代を開いていく」と共同宣言（別掲）を通じて目標と方向性を明らかにした。

そのために、「共に民主党」の李在明（イ・ジェミョン）候補を広場大選候補として選

定し、支持を宣言した。これに従い、進歩党のキム・ジェヨン候補は出馬を辞退した。

また、△内乱行為に対する徹底した真相究明と法的責任を問うために、特別検察法を推進し、「反憲法行為特別調査委員会」を設置する△拒否権行使のために廃棄された諸法案の早期再立法化を推進する△決選投票制の導入、議会選挙における比例代表性の拡大強化、院内交渉団体の基準緩和など、政治改革を推進する△国民の基本権強化と憲政秩序守護のための改憲を推進する△市民社会と諸政党が参与する「社会大改革委員会」を発足させることなどを提起した。

広場大選連合政治市民連帯のパク・ソグン共同議長は「まだ内乱は終息していない。光の広場の市民の力と民主憲政守護の政党が合体してこそ、内乱勢力の再執権阻止と圧倒的な政権交代が、内乱勢力の徹底清算と社会大改革の実現が可能になる」とし、「今日の記者会見は新しい大韓民国と根本的な社会大改革に向けた歴史的な転換点となる」と期待した。

金文洙、「国民の力」公認候補に復活

大統領選を巡り、旧与党「国民の力」の予

備選を勝利した前雇用労働部長官・金文洙（キム・ムンス）と前首相・韓惠洙（ハン・ドクス）の一本化交渉が決裂し、同党執行部は10日、金文洙の公認を一時取り消した。執行部は、韓惠洙への候補交代を目指したが、同日実施した党员投票で否決され、金文洙の公認が復活した。

正式な手続きで選出された候補を執行部主導で強引に交代させようとした異例の事態で、党内外から「非民主的」と批判が広がっていた。

同党トップの非常対策委員長・権寧世（クオン・ヨンセ）は「一本化を成し遂げられず、本当に残念だが、全ての責任を取ってわたしが退く」と辞任した。

大統領選がスタート

6月3日投開票の大統領選は12日、公式選挙運動期間に突入した。中央選挙管理委員会によると、大統領選には計7人が立候補を届け出た。

「共に民主党」の李在明、「国民の力」の金文洙、「改革新党」の李俊錫（イ・ジュンソク）、「民主労働党」の権英国（クオン・ヨングク）、「自由統一党」のク・ジュワ、無所属のソン・ジンホ、黄教安（ファン・ギョアン）候補が登録した。

日本における在外投票は20～25日（一部22～24日）。

平壤浸透・無人機は韓国軍無人機司令部のものと酷似

国防部傘下の国防科学研究所は最近、昨年10月に平壤で墜落した無人機（ドローン）と韓国軍無人機司令部が使用する無人機が「非常に類似する」との報告書を公開した。

これについて自主統一平和連帯（平和連

帯）は16日、ソウル・警察庁国家捜査本部前で記者会見を開催し、「国防部が直接、平壤に無人機を浸透させようとしたことを立証する決定的証拠」だとし、無人機のピョニャン浸透を通じて戦争を誘導しようとした内乱・外患（国家の対外的安全を害すること）勢力に対する徹底した捜査と処罰を要求した。

平和連帯は昨年12月、尹錫悦（ユン・ソンニョル）と前国防部長官・金龍顯（キム・ヨンヒョン）ら12・3戒厳内乱主導者4人を「戦争誘導」「外患罪」容疑で告発している。

尹錫悦、「国民の力」離党

尹錫悦は17日、国民の力を離党した。党内からは大統領選に向けた中間（無党派）層取り込みのため、尹錫悦の離党を求める声が出ていた。党臨時執行部トップの金龍泰（キム・ヨンテ）非常対策委員長は15日の記者会見で、離党を求める考えを示した。

尹錫悦は同日、フェイスブックに離党はするものの、自由と主権を守るため、白衣従軍（一兵卒として従軍の意）するとし、同党候補・金文洙への支持を訴えた。金文洙は離党について、本人が決定することだと判断を避けていた。

尹錫悦は19日、内乱首謀罪に関する第4回公判に出廷した。公判前後に報道陣が尹錫悦に向けて、非常戒厳について謝罪する気持ちがあるか、「離党は偽装ではないか」などと問いかけたが、尹錫悦は無言のまま応じなかった。

5・18民主化運動式典、金文洙は欠席

「5・18民主化運動（光州民衆抗争）」から45年となる18日、同市にある国立5・18民主墓地で記念式典が開かれた。

大統領権限を代行する李周浩（イ・ジュホ）社会副首相兼教育部長官をはじめ遺族や市民ら約2500人が参加した。大統領選を控え、李在明、李俊錫、権英国候補が出席した。

金文洙はテレビ討論会の準備を理由に欠席したが、特戦司令官として光州民衆抗争の弾圧に加担した鄭鎬溶（チョン・ホヨン）を選挙対策委の顧問に任命しようとして批判を浴び、式典実行委から参席を拒否されていた。

テレビ討論会、「北核」巡り舌戦

大統領選の主要候補による初のテレビ討論会が18日に開かれ、李在明、金文洙候補が朝鮮の核問題の解決策を巡って舌戦を繰り広げた。

金候補は「米国と協力し、在韓米軍や米国の原子力潜水艦、戦略爆撃機、グアムに駐留する米軍や在日米軍などがすべて連帯し、北の核に対応できる二重、三重の防御幕を張らなければならない」とし、「防衛だけでなく、必要な時は北の指揮部を完全に壊滅させることができる報復打撃などを確実に確保してこそ、わたしたちの安全保障が維持されるのではないか」と主張。

これに対し、李候補は「（金氏が主張する）拡大抑止はすでに韓米で十分に協議され、相当程度の装置が設けられている」と反論。

「朝鮮半島の核は基本的に『北が核を持っているため、わたしたちも核を持とう』という方式では、日本も東南アジアも核武装をして核のドミノ現象を起こすため、簡単ではない」とした上で、「可能な範囲内で通常軍事力を最大限拡大し、米国の核の拡大抑止力を最大限共有する方式でこれまでやってきた」とし、「今後もそうしながら朝鮮半島を非核化する方向で目標を定めていかな

ければならない」と主張した。

李在明候補が支持率50%超でトップ維持

韓国世論調査会社のリアル미터が19日に発表した調査結果によると、次期大統領にふさわしい人物を尋ねる調査で、李在明候補が50.2%の支持を得て1位を維持した。金文洙候補は35.6%、李俊錫候補は8.7%だった。

現在支持する候補を大統領選まで支持する意向があるかについては、「引き続き支持する」との回答が82.3%だった。

大統領選で政権交代を望む人は55.6%、国民の力政権の継続を望む人は39.5%だった。

調査は14～16日、全国の18歳以上の1509人を対象に実施された。

「光の革命」を完遂しよう

「広場大選連合政治市民連帯」と5野党による連席会議は、大統領選において内乱勢力の再執権を阻止して圧倒的な政権交代を成し遂げ、内乱勢力を清算し、社会大改革を推進するために、広場と野党の連帯で広場-連合政治の時代を開くと明らかにした。院内外を貫く広範な民主連合戦線がついに構築された。パク・ソグン氏の言葉どおり「歴史的転換」といえる。

「国民の力」の候補選出過程における混乱は、親尹派の指導部による「金文洙おろし→韓惠洙擁立」強行策が引き起こしたもののだが、最終的に金文洙が候補として復活したことで、そのシナリオは破たんした。これは、支持率で金文洙を上回る韓惠洙の「首相イメージ」を利用して内乱政党であることを覆い隠しながら、中間層の取り込みを狙い、韓惠洙に改憲を云々させて国民を幻惑し、内乱勢力の生き残りとして復活を図った策

略と言える。内乱政党と呼ぶにふさわしい醜態を国民の前で平然と繰り広げたあまり、朴槿恵（パク・クネ）元大統領の支持団体でさえ同党への「幻滅と怒り」から、支持を撤回し李候補を支持すると表明した。

尹錫悦は罷免されたことを意に介さず平然と政治活動を続け、離党表明した17日には「金文洙支持」を訴えた。内乱同調者・金文洙候補が内乱首謀者・尹錫悦の支持をあらためて公然と受けたことを示した。

曹喜大（チョ・ヒデ）大法院長（最高裁長官）による李在明氏関連裁判の高裁無罪判決に対する破棄差し戻し決定に続いて、尹錫悦の内乱事件裁判で裁判長を務めるソウル中央地裁の池貴然（チ・グィヨン）部長判事が、事件の関係者から接待を受けていたとする疑惑まで明らかになった。さらに、元首相・黄教安候補は「不正選挙の剔抉（てっけつ＝暴き出すこと）」を公約に掲げ、極右・自由統一党候補と共に、大統領選を不正選挙だとして政治騒乱を起こそうとするのではとの疑惑を払しょくしきれない。いまだ

内乱は終息せず継続していると言わざるを得ない。

まさに今回の大統領選の構図は、民主憲政守護勢力と内乱勢力との闘いだ。重要なのはこの間、内乱勢力と果敢に闘い、成果をあげ勝利を収めてきた広場の市民の力にしっかりと依拠し闘うことである。

広場連合＝民主連合戦線と言える連席会議は、国民のパワーを総結集し内乱勢力の再執権を許さない圧倒的な政権交代を成し遂げ、その動力で次期政権は、内乱勢力の徹底清算と社会大改革の課題を広場と共に実現しなければならない。そうした過程を通じて広場連合は民主連合政権へと発展し、さらには自主・民主・統一を展望する自主的民主政権を実現する道へとつながるはずだ。広場の市民が民主主義を守るために繰り広げた闘いとその勝利は「光の革命」と呼ばれている。光の革命を必ず完遂しなければならない。

（2025年5月20日）

●情勢短信

米司令官「韓国は日中間に浮かぶ島か固定された空母」

在韓米軍のブランソン司令官は5月15日（現地時間）、米ハワイで開催されたシンポジウムで、米国が中国とロシアに対抗するため、韓国に地上軍を駐留させる必要があると強調した。ブランソン氏は広範囲なインド太平洋地域で韓国に駐留する米軍が大きな役割を果たしているとして、韓国の地理的な位置が戦略的に重要との考えを示した。その上で、「北京と最も近い同盟の存在」であり、「日本と中国本土の間に浮かぶ島か、固定された空母のようだ」と評した。また、「在韓米軍は北朝鮮（※正しくは朝鮮）

の撃退だけに焦点を当てていない」とし、「より大きなインド太平洋戦略の部分として、域内での作戦、活動や投資にも焦点を当てている」と述べた。韓米日の軍事訓練に関しては、「韓米日の協力は常に行うべき」として、「すべてのパートナーが（朝鮮半島に）来て訓練することを望む」と述べた。ブランソン氏の発言は、朝中ロを対象にしながらも特に対中軍事戦略の前進基地として韓国を、その後方基地として日本を位置づけ、在韓米軍・韓国軍・在日米軍・自衛隊の再編・統合・強化を進めていることをあらためて明らかにしたものだ。

●翻訳資料「新しい大韓民国のための『広場大選連合政治市民連帯』と諸政党 連席会議」共同宣言

大韓民国の時間を軍部独裁時代へと逆戻りさせようとした12.3不法戒厳に憤怒した市民は、民主主義守護と憲政秩序回復の念願を集め「光の広場」を開いた。そして、ついに内乱の首謀者・尹錫悦（ユン・ソンニョル）を罷免した。内乱の完全な清算と社会大改革に向けた希望の旅程を始めなければならない時に、韓惠洙（ハン・ドクス）ら内乱勢力は新たな反撃を始め、これは曹喜大・大法院の司法クーデターへと続けられてしまった。国民の主権が深刻に脅かされた。内乱はいまだに継続している。「大韓民国のすべての権力は国民から発する」との民主主義の基本原則さえ壊そうとする極右内乱勢力との戦争で、わたしたちは決して敗北することはできない。広場の光を率いた主権者・市民の力で必ず勝利する。

「広場大選（大統領選）連合政治市民連帯」と民主憲政-国民主権守護政党は、内乱の完全な終息と新しい大韓民国の道を開くために、力と意を集め、「市民社会-諸政党 連席会議」を開催し、次のように宣言する。

1. わたしたちは、今回の大統領選において積極的な連帯と協力を通じ、極右内乱勢力の再執権を阻止し、国民主権を守護するために、圧倒的な勝利をつくりあげる。また、極右内乱勢力を清算し、社会大改革の課題を推進するための広場-連合政治の時代を開いていくことを宣言する。

1. わたしたちは、内乱の完全な終息と圧倒的な政権交代のために、「共に民主党」の李在明候補を広場大選候補として選定し、支持を宣言する。

1. わたしたちは、極右内乱勢力による民主憲政秩序のじゅうりんと政治・社会的な退行をただし、内乱行為に対する徹底した真相究明と法的責任を問うために、特別検察法を推進し、「反憲法行為特別調査委員会」を設置することを宣言する。

1. わたしたちは、尹錫悦と韓惠洙、崔相穆（チェ・サンモク）の拒否権行使のために廃棄された諸法案を、可能な限り早期に再立法化を推進するなど、尹錫悦政権の反民主・反民生の暴政をただすことを宣言する。

1. わたしたちは、民主政治の復元と連合政治の実現のための制度改革が必要だとの共同認識の下に、社会的合意と国民的共感に基づき、決選投票制の導入、議会選挙で比例代表性の拡大強化、院内交渉団体の基準緩和など、政治改革を推進することを宣言する。

1. わたしたちは、国民の基本権強化と憲政秩序守護のための改憲の必要性に対し共感し、大選後に国会・憲法改正特別委員会を通じ、国民参与型の改憲を任期内に迅速に推進することを宣言する。

1. わたしたちは、内乱の完全な清算と社会大改革の推進のための社会的対話の必要性に積極的に共感し、次のような主要政策課題の実行方案を論議するために、市民社会と諸政党が参与するガバナンス（統治）体系である「社会大改革委員会」を発足させ、深い協議を推進することを宣言する。

（1）住宅・交通・食糧・エネルギーの公共性を強化し、公共再生エネルギーの拡大を通じ

て、気候先進国を実現し、気候危機をこえ正義の生態社会を具現する課題。

(2) 検察の捜査権と起訴権を分離し、内乱に加担した権力機関を民主的に改革する課題。

(3) 経済的・社会的不平等などの解消、社会公共性の強化、社会福祉の拡大と財閥の企業支配構造の改善、大-中小企業間の共存政策の実施、そして露天商、自営業者、中小商人の保護と支援政策の実行など、正義の経済と民生が安定した社会をつくる課題。

(4) すべての尊厳と共存のために、性平等と人権、多様性とケアが基本価値となる民主社会、そして嫌悪と差別が克服され社会的統合が実現される成熟した先進社会をつくる課題。

(5) 労働関係法適用の死角地帯が解消され、国際的水準で労働基本権が保障され、働く人々が安全で健康に労働し休息できる権利を保障する課題。

(6) 食糧主権の実現のための農漁民と食糧の基本権の強化、均衡発展と地方分権の実現、そして地方財政を拡充する課題。

(7) 放送通信委員会・放送通信審議委員会の根本的改革、尹錫悦によるメディア掌握の真相究明、公営放送社長の国民推薦制とメディア会社内部の編成・政策における自律性の法制化など、メディア改革を推進し、メディア・情報通信・文化の公共性と表現の自由が保障される社会をつくる課題。

(8) 南北間の平和・協力体系を構築し、国益中心の実用外交を復元し、互惠・平等の国際秩序を形成する上で先頭に立つなど、平和と主権が実現される課題。

(9) 強制動員と日本軍性奴隷制問題に対する外交的保護権の行使、植民地・国家暴力の真相究明など、歴史正義を実現する課題。

(10) 障がい者の権利と生活が保障され、声明と安全が保障される社会をつくる課題。

(11) 教育公共性の強化と入試至上教育の改革、大学学費問題の解決と研究・学術体系の革新および大学の均衡発展政策を推進し、合わせて青(少)年の生活に希望を与える社会をつくる課題。

1. わたしたちは、政権交代後にも内乱極右勢力の清算と社会大改革の実現のために、積極的に連帯と協力を進めることを宣言する。

わたしたちは、新しい大韓民国、社会大改革に向けた歴史的な転換点において、小さな利害関係に右往左往せず、「光の広場」の市民の切実な念願を実現するために、国民と共にさらに大きく前進する。市民の力と政党の責任が一つになる時、極右内乱勢力を完全に清算し、正義と希望の大韓民国を再び立ち上げることができることを「光の広場」の熱望と意志を込め共に宣言する。

2025年5月9日

広場大選連合政治市民連帯

共に民主党 祖国革新党 進歩党 基本所得党 社会民主党

原文 <https://vop.co.kr/A00001670588.html>

활동보고 活動報告

●「第28回統一マダン神戸」開催…朝鮮半島の平和と統一をアピール



会場を行進しながら統一をアピールする参加者

「第28回統一マダン」が5月11日、神戸市内で開催された。主催は韓統連兵庫本部、韓青兵庫県本部を中心とした実行委員会。今年は「朝鮮半島に平和と統一を！ 出合いが理解を！ 理解が平和を！ とともに作り出そう 子どもたちの未来を！」をスローガンに掲げ、多くの在日同胞や日本人が参加した。

神戸中華同文学学校の獅子舞によるオープニング後、崔孝行（チェ・ヒョヘン）実行委員長（韓統連兵庫本部代表委員）が主催者あいさつ。「4月4日に韓国市民の力によって

尹錫悦（ユン・ソンニョル）が罷免された。今こそ、内乱勢力を清算し、社会大改革を進めなければならない。統一マダンの中でみなさんの心と力を一つにし、統一への新しい未来をつくり出していこう」と訴えた。

会場には朝鮮料理をはじめとする多彩なメニューを揃えた屋台が出店し、参加者は舌鼓を打った。展示コーナーでは朝鮮半島の統一への歩みや阪神淡路大震災の記録を展示。参加者の注目を引いた。

舞台では、おーまきちまきさんの反戦平和の歌唱、子供たちのエイサー（沖縄伝統舞踊）、三田太鼓、キッズダンスが披露され、神戸朝鮮高校は舞踊部と吹奏楽部が出演。会場を沸かせた。劇団石（トル）のきむきがん氏による祖国統一をテーマにした独り芝居「ホルロアリラン」は笑いと涙を誘い感動を与えた。

フィナーレでは川口真由美氏が「アリラン」を熱唱。「ウリエソウオン」（わたしたちの願いは統一）を参加者全員で歌い、祖国統一への願いを共有した。

●韓統連三重本部がセミナーを開催…朝鮮人強制連行、虐殺の歴史を学ぶ



講演する竹本昇代表

韓統連三重本部が5月11日、四日市市内で「木本事件・紀州鉾山で亡くなった朝鮮人」をテーマにセミナーを開催した。講師はハンクネットの竹本昇代表。

三重本部の金相祚（キム・サンジョ）代表委員が主催者あいさつ。竹本氏との縁や、10年以上前に初のフィールドワークを実施したときの思い出を振り返った上で「植民地支配に係る歴史清算には歴史を正しく知ることと祖国統一が必須だ」と強調した。

竹本氏が講演。熊野市木本町で1920年代に発生した木本事件、紀州鉾山における朝鮮人強制連行の実態、虐殺の実態や石原産業の銅山に連行された朝鮮人労働者の過酷な労働状況、自治体のずさんな対応など、当時の状況が生々しく語られた。また、共同墓地が荒れ果てている現状も報告され、参加者全員で清掃も兼ねたフィールドワークの必要性を共有した。

白康喜（ペク・カンヒ）事務次長が、地域日本人青年が4月29日に開催した「鈴鹿

海軍工廠のフィールドワーク」を報告。

閉会あいさつでは安昌浩（アン・チャンホ）副代表委員が「今回の学習を糧とし、フィールドワークを開催し、知識の血肉化と青年らの学習機会をつくり出していこう」と語った。

近隣の韓国居酒屋で交流会を開催。参加者一人ひとりが感想を述べ、学びを共有すると共に、フィールドワークの開催を確認した。

●大阪で「みんなでつくろう明日の平和！ピースフェスタ in おおさか 2025」開催



大阪朝高舞踊部が朝鮮舞踊を披露

「みんなでつくろう明日の平和！ピースフェスタ in おおさか 2025」が5月11日、いくのパーク（大阪市生野区）で開催された。主催は同実行委員会。韓統連大阪本部が実行委員として参加した。

「平和と民主主義をともにつくる会大阪」

の山川よしやす代表が主催者あいさつ。「世界では、ウクライナ戦争をはじめ戦争や紛争が多発し、日本政府は軍拡を推し進めている。全ての差別は戦争への道。みんなの力で差別をなくし、平和を実現しよう」と語った。団体アピールでは韓国オプティカルハイテック労組、全日建連帯労組関西地区生コン支部、「夢洲カジノを止める大阪府民の会」などがアピールし、戦争のない平和な社会を共につくっていくことを共有した。

当日は晴天に恵まれ、舞台ではサックス演奏、朝鮮舞踊、沖縄エイサーなど多彩な演目が披露され、ビール、フライドポテト、焼鳥、冷やしうどん、子ども向けのキャラクターすくい、当て物などの出店が並び雰囲気を盛りあげた。

●韓統連が光州民衆抗争45周年全国集会を開催…内乱勢力清算、社会大改革推進を決意

在日韓国民民主統一連合（韓統連）が5月18日、名古屋市内で「内乱勢力清算！社会大改革推進！光州民衆抗争45周年記念在日韓国人全国集会」を開催した。

韓統連の宋世一（ソン・セイル）委員長が主催者あいさつ。「韓統連は2年前の光州集

会から尹錫悦（ユン・ソンニョル）退陣を訴えた。2年の苦闘の末、尹錫悦を罷免し、6月3日には大統領選を控えている」「韓国では、内乱がいまだに継続している。次期政権の最初の課題は、内乱勢力を徹底して清算することだ。そのためには、圧倒的な政権交



全体でスローガンを唱和

代を実現しなければならない。広場、野党の一体となった民主連合政権を誕生させ、光の革命を完遂しよう」と語り、在外同胞として積極的に投票するよう促した。

金昌五（キム・チャンオ）副委員長が「光復 80 年 尹錫悦内乱事件の真相と朝鮮半島情勢の展望」と題し講演。尹錫悦内乱事件について「尹錫悦は戒厳令によって敵対する議員を逮捕し、自らの意のままにできる立法機関をつくろうとしたが、市民の命がけの抵抗と野党の迅速な対応、軍警の一部による命令不服従によって阻止された。尹錫悦弾劾決議から罷免に至るまでに数々の困難があったが、広場の市民による粘り強い闘いによって打倒することができた。次期政権は、必ず広場の市民たちの要求に応えなければならない」と語った。また「韓日条約は米国の圧力によって締結に迫られ、朴正熙（パク・チョンヒ）政権が経済協力の見返りに過去清算を棚上げにした条約であり、これではとても問題が解決したとは言えない。光復 80 年の節目の年を迎え、私たちはより強く日本に対して植民地支配に対する謝罪と賠償を求めていかなければならない」と訴えた。今後の課題として△過去清算による韓日・朝日関係の正常化△韓米・韓米日戦争演習の中止△内乱勢力の一掃△自主的民主政府樹立による南北関係の改善を掲げた。

地方本部、会員団体から意見表明。韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長は「尹錫悦は罷免されたが、内乱はまだ続いている。今回の大統領選は単なる政権選択選挙ではなく、韓国が米国と決別し、民族自主の観点で南北関係を推進する、真の民主共和国に生まれ変わるための闘いだ」「韓国ではわたしたちと同年代の青年たちが光州精神を継承し、『光の革命』の原動力となった。わたしたちも在日同胞青年として、韓国の地に真の自主を勝ち取るための闘いに全力を投じていく」と語った。

韓統連愛知の金源道（キム・ウォンド）事務局長は「今回の尹錫悦罷免は、光州の闘いを継承した韓国市民の闘いがもたらしたものだ。この間セウォル号惨事、梨泰院惨事という巨大惨事を経験し、今回の戒厳令があった。韓国の若者たちは、この社会が自分たちを守ってくれないといった恐怖の中で生きているのではないかと思い、とても申し訳なく思う」「今回の大統領選挙を機に、新しい局面をつくっていかなくてはならない。圧倒的な勝利によって内乱勢力を徹底的に清算しよう」と強調した。

趙基峰（チョ・キボン）副委員長が決議文を朗読。△ 5・18 光州精神を継承しよう△ 圧倒的政権交代により内乱勢力清算と社会大改革を実現しよう△ 「光の革命」を完遂し、新しい大韓民国を誕生させようの 3 項目を決議した。

金隆司（キム・ユンサ）副委員長が閉会あいさつ。「光州虐殺の主犯の全斗煥（チョン・ドゥファン）は光州から 15 年後に法廷に立ち、獄中生活を送ったものの半年で釈放された。彼は生涯一度も光州のことを謝罪していない。尹錫悦は徹底的に処罰されなければならない。光州精神とは勝利への確信だ。光州から 45 年たち、私たちは勝利し

た。これからも勝利への確信を持って、ともに闘っていかう」と語った。

※光州集会の記事が韓国のインターネットメディア「自主時報」に掲載されました。

<https://m.jajusibo.com/67848>

決議文

「共に民主党」の朴賛大（パク・チャンデ）院内代表は昨年12月14日、国会で大統領・尹錫悦に対する弾劾訴追案の提案説明をした。ハンガン作家がノーベル文学賞受賞記念講演で著作と関連して光州民衆抗争に言及した部分を引用しながら、「過去が現在を助けることができるのか」「死者が生きている者を救うことができるのか」との問いに、朴氏は「12.3非常戒厳の内乱事態を経験し、『そうだ』と答えたい。1980年5月が2024年12月を救ったからだ」と強調した。

韓国を軍部独裁時代に逆戻りさせようとした12.3非常戒厳に憤怒した市民と野党は、全力で国会を守り抜き非常戒厳を解除した。1980年5月、全斗煥（チョン・ドゥファン）軍部独裁の戒厳措置に抗拒した光州市民の闘争精神、すなわち光州精神は韓国民主化運動の歴史の中で脈々と受け継がれながら、民主主義の危機局面を迎えて一挙に噴出した。まさに、過去が現在を助け、死者が生きているものを救った。

市民は民主主義守護と憲政秩序回復の念願を集め「光の広場」を開きながら、内乱首謀者・尹錫悦（ユン・ソンニョル）と内閣・与党「国民の力」など内乱勢力との汎国民的闘争を展開し、ついに尹錫悦は罷免された。

しかし、真の謝罪も反省もしない尹錫悦と内乱勢力は罷免をも承服せず、平然と大統領選に臨み、大騒動の末に極右内乱勢力に支えられた金文洙（キム・ムンス）を候補にして生き残り復活を図っている。内乱勢力を徹底清算しなければ韓国の未来はない。

広場と野党は、この間の共闘の成果を発展させ、「新しい大韓民国のための広場大選（大統領選）連合政治市民連帯-諸政党 連席会議」を構成した。広場連合であり民主連合戦線と言える連席会議は△内乱勢力の再執権阻止△圧倒的な政権交代△内乱勢力の清算△社会大改革の推進を掲げ、「共に民主党」の李在明（イ・ジェミョン）候補を広場大選候補に選定し支持すると決定した。

大法院の「司法クーデター」が示すように内乱は継続している。今回の大統領選は、民主憲政守護勢力と内乱勢力との闘いだ。連席会議は国民のパワーを総結集し圧倒的な政権交代を成し遂げ、その動力で次期政権は内乱勢力の徹底清算と社会大改革の推進を広場と共に実現しなければならない。そして、広場連合＝民主連合戦線が民主連合政権へと、さらには自主的民主政権へと発展するよう望みたい。

光州民衆抗争45周年を迎え、わたしたちは光州精神を胸に刻み、主権者・市民の力で「光の革命」を完遂し、正義と希望に満ちた新しい大韓民国を誕生させるために、内外の同胞と共に闘うことを誓いながら、次のように決議する。

1. 5・18 光州精神を継承しよう！
1. 圧倒的政権交代により内乱勢力清算と社会大改革を実現しよう！
1. 「光の革命」を完遂し、新しい大韓民国を誕生させよう！

2025年5月18日 参加者一同

内乱勢力清算！ 社会大改革推進！
光州民衆抗争45周年記念 在日韓国人全国集会

●「行動する良心 石井寛さんを偲ぶ集い」開催…宋世一委員長がメッセージ



故人への思いを語る渡辺一夫代表

5月18日、昨年1月26日に急逝した「韓国良心囚を支援する会全国会議」（全国会議）の事務局長・石井寛氏を偲ぶ集いが、生地・熊本県多良木町のたらぎ交流館で行われた。宮崎勇市氏をはじめ「人吉高校李哲（イ・チョル）同窓生の会」の有志による呼びかけで開催された。韓統連の宋世一（ソン・セイル）委員長からの追悼メッセージが

紹介された。

集いには故人の家族、元在日韓国人良心囚の李哲氏・閔香淑（ミン・ヒャンスク）氏夫妻、韓国からの参加者、元良心囚やその家族、李哲氏救援運動に携わった友人や関西の良心囚同友会メンバー、全国会議の渡辺一夫代表と東風徹氏、「李哲さん救援会東京」の小林昌人氏らが参加した。

宮崎氏の司会で進行。韓国良心囚後援会の追悼文の紹介や李哲氏のあいさつ、同窓生の会の方からの思い出が語られ、これらを受けて石井さんのお連れ合いと息子さんからお礼が述べられた。歌手の李政美（イ・ジョンミ）氏が「アチムイスル（朝露）」を熱唱。参加者も共に歌い、石井氏が目指した日韓民衆連帯の思いを共有した。

●活動レポート

「韓国オプティカル労組」定例支援行動



日東電工に争議解決を訴える参加者

「韓国オプティカルハイテク労組を支

援する会」は5月8日午前、定例の宣伝行動を品川駅前、申し入れ抗議行動を同駅近くの東京本社に向けて展開した。宣伝行動では韓統連の宋世一（ソン・セイル）委員長が連帯あいさつを通じて「尹錫悦（ユン・ソンニョル）を罷免に追い込んだ市民と野党は労働者の権利を守ると明らかにしている。期待すると共に、そのことを待たずとも日本側は早急に争議を解決すべきだ」と訴え

た。本社前では交渉を拒絶する会社側に向けて抗議の声をあげた。

행사예정 行事予定

6月

韓日民衆連帯アクション(大阪)

日時: 6月7日(土) 午後6時～7時 場所: JR鶴橋駅前 内容: プラカード・マイクアピール他 主催: 韓統連大阪本部、韓青大阪府本部 連絡先: 090-3822-5723 (崔)

韓日条約を考えるシンポジウム(大阪)

日時: 6月22日(日) 午後1時開場 1時半開始 場所: KCC 会館 内容: 基調報告、パネルディスカッション(コーディネーター: 金隆司(キム・ユンサ) 韓統連副委員長 パネラー: 長崎由美子氏、山口愛衣氏、朴偕泰(パク・ヘテ)氏) 参加費: 800円(青年、学生、障がい者500円) 主催: 大阪本部 連絡先: 090-3822-5723 (崔)

中央事務所 移転のお知らせ

5月24日(土)より中央事務所を下記に移転します。

〒169-0074 東京都新宿区北新宿1丁目30-30-124

※JR「大久保」駅から徒歩7分

電話/FAX 03-4362-5284 (変更はありません)

メール chuo@korea-htr.org

第21代大統領選挙 在外投票のお知らせ

尹錫悦(ユン・ソンニョル)の罷免により、次期大統領選挙が6月3日に実施されることになりました。大統領選挙には韓国国籍を保有する在外同胞も投票できます。

投票には、原則として事前に選挙人登録が必要です。

①今回はじめて投票する方は、これまでにお知らせしたように、4月24日までに登録しておく必要があります。

②すでに選挙人登録を行っている方は、「永久名簿登録」されているため、新たに登録する必要はありません。ただし、これまでに2回以上続けて在外投票していない場合は、名簿から抹消されるため、改めて登録が必要です。

在外選挙投票期間 2025年5月20日～2025年5月25日（投票所により異なります）

投票所などの詳細は選挙管理委員会ホームページをご覧ください。

<https://ova.nec.go.kr/cmn/main.do>



・韓統連ホームページ（「広報・案内」）で選挙情報を紹介しています。

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の動画を韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。



韓統連YouTubeチャンネル



韓統連ホームページ

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCg8NZg52O1VTAMlgrXfqIQ>

韓国大統領選の選挙戦がはじまり、各候補が全国をまわっています。韓国社会の大改革を進めていくためには、広場・野党連帯が圧倒的に勝利しなければなりません。選挙登録をされた同胞の方は必ず投票しましょう！（李）